

R7 富良野市立富良野小学校 グランドデザイン

全ては子どもたちのために
(富良野市教育推進基本方針)

持続可能な世界
ポストコロナ

生成A |
次期学習指導要領へ
Well-Being

子ども基本法
多様性の尊重

教育目標

おのづから
悠久の空晴れる

日の光 まかがやく
(校歌)



世界につながり、未来を拓く富良野の子どもの育成

学び合う子

- A 授業で身に付けた知識・技能を学びや生活に活かす力**
- B 考えを明確にし、自分なりに工夫して表現する力**
- C 自分らしさを磨く学び方を工夫し続ける力**

認め合う子

- D 自他の良さを理解し、多様性に気づく力**
- E 明るい挨拶や言葉遣い、コミュニケーションを磨く力**
- F 相手に応じた関わり方やより良い仲間づくりをめざす力**

高め合う子

- G ゲーム依存症などを理解し、健康維持の大切さに気づく力**
- H 時間の使い方を工夫するなど、より良い生活習慣を考える力**
- I 体力向上や健康維持に向けて、生活を改善しようとする力**

児童の実態

- ・ポストコロナにおいて、運動会・学芸会・歌声集会などの行事の取組を通じ、互いの頑張りを認め合い感動を共有することができた。同時に「自己有用感」「自己肯定感」を実感し、自分の新たな可能性に気づくなど、「自信」につなげた子が多い。
- ・ゴールを明確にして見通しをもって学んだり、自分の学び方を振り返り調整したりするなど、主体的に学ぶ力をさらに磨く必要がある。あわせて、家庭学習の内容を工夫し続けるなど、自分らしさを磨く力もより育てていく必要がある。
- ・個性を発揮しながら伸び伸びと学校生活を送っている子が多い。「爽やかな挨拶」や「適切な言葉遣い」を含め、よりよいコミュニケーション力を身につけ、互いを尊重し合う風土の醸成が必要である。
- ・自分専用の電子メディア機器を6割以上の児童が保有している。電子メディアの特性を理解し、依存症にならないよう留意し、読書・運動・手伝いなどへシフトして時間を上手に使うなど、自分の生活習慣をより良くする力を磨く必要がある。

令和7年度 重点目標
**ゴールに向かって自分らしさを磨こう
～心を通わせながら～**

富小っ子 どまんなか学校

教職員
**エージェンシーで「笑顔」と「潤い」を
～今こそ「すべての子どもたちのために」～**

保護者・地域の実態

- ・富良野盆地開拓と同じ時期に開校し、123年の歴史と伝統のある学校である。敷地内の「へそ公園」には、北海道の中心標がある。
- ・公共施設や商業施設などが市街地にあり、暮らしを支える人々の様子などを直接見ることができる。学びの場「人・こと・もの」がカリキュラムへ位置付いている。
- ・保護者職業は、観光業を含め、自営業、公務員など多岐にわたる。学校教育への関心や期待が高い。メディアアントロール・プロジェクトに前向きに取り組むなど協力的な家庭が多い。
- ・「本校ならでは」の特色ある教育活動が持続していくよう、学校運営協議会や地域人材のサポート体制が構築されている。
- ・令和6年度から「富小っ子サポートーズ」が発足し、ポストコロナにおける主体的な活動により、保護者と教職員の協力体制が新たに生まれ出されている。
- ・興味関心に応じた体験的な学びの場が整えられており、各スポーツ・文化に関わる少年団活動やサークル活動も盛んである。
- ・卒業後は、ほとんどの子が富良野西中学校へ進学する。地元の高校は、富良野高校の1校となる。

- 1 「主体的な学び」を支えるカリキュラム・デザイン
 - ① ゴールを明確にした単元づくり
 - ② 学びの調整につながる手立ての工夫
- 2 「質の高い学び」をめざす授業改善
 - ③ リアルな学びを支えるベストミックスの推進
 - ④ 自分らしさを発揮できる風土の醸成
- 3 家庭学習の充実と読書活動の推進
 - ⑤ 授業と家庭学習がリンクする手立ての工夫
 - ⑥ 本に親しむ機会の充実と読書活動の推進

- 4 心に響く道徳の充実といじめ防止
 - ⑦ 考え、議論する道徳の授業づくり
 - ⑧ いじめZERO運動、不登校支援
- 5 よさやがんばりを実感できる場の充実
 - ⑨ 感動を共有し、自信につながる機会の充実
 - ⑩ 子ども主体の活動の工夫
- 6 心が通う場の充実
 - ⑪ 挨拶運動の推進と適切な言葉遣いの指導
 - ⑫ 様々な人と関わる場の充実

- 7 安全&健康増進を学ぶ場づくり
 - ⑬ 季節に応じた安全指導・保健指導の工夫
 - ⑭ 栄養バランスの大切さを学ぶ食育の推進
- 8 親しみをもって運動する仕掛けづくり
 - ⑮ 目標に向かって取り組む運動プログラムの充実
 - ⑯ 楽しみながら運動できる体育授業の工夫
- 9 家庭と連携した生活習慣確立の取組
 - ⑰ メディアアントロール・プロジェクトの推進
 - ⑱ 生活習慣全般を見直すための保護者との連携

知育の木

情意の木

健康の木

特別支援教育の充実

- ・「個別の指導計画」「面談」に関わる年間計画の可視化とフレキシブルな体制づくり
- ・「特別支援教育」に関わる理念の浸透を図る場や機会の充実

「本校ならでは」の教育活動の充実

- ・1年生保育所交流
- ・2年生高齢者ふれあい
- ・3年生玉ねぎ（富良野高）
- ・4年生演劇
- ・遠隔交流学習（4年兵庫・5年奈良・6年沖縄）
- ・4年生防災教室
- ・4年生森林学習プログラム
- ・5～6年生自然塾環境教育
- ・5年生伝統文化
- ・SB（5年生後期～6年生前期）
- ・6年生未来づくりフォーラム など

より信頼される学校をめざして

- ・学校改善プランの策定
- ・CSと地域学校協働活動の一体的推進
- ・見守り隊
- ・学校だより、HP

学びの大地